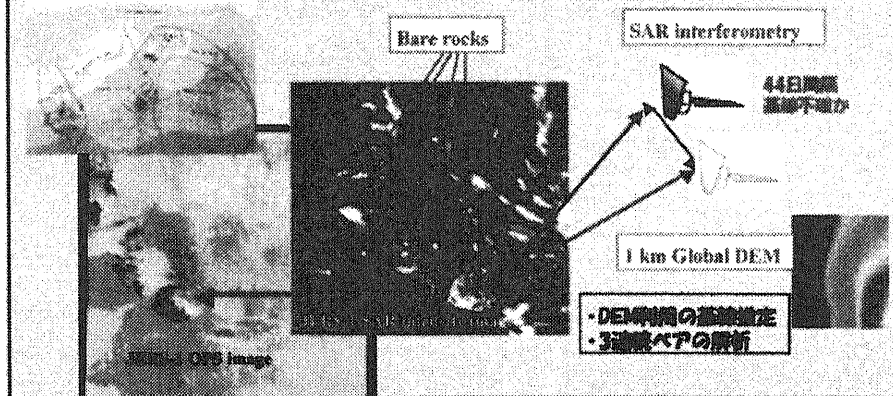


JERS-1 SAR インターフェロメトリによる 南極内陸部の氷床観測

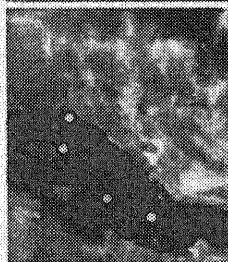
木村 宏 (岐阜大学)

若林裕之 (JAXA)

西尾文彦 (千葉大学環境リモートセンシングセンター)



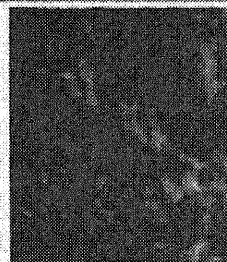
結 果



-8 (cm/month) 55
観測方向変位(4月~6月)



-8 0 8
等速変位値定での残留地形
位相(200m以下)



-8 0 8
等速変位値定での残留位相
(観測的に許容)

結 論

- 南極内陸部ヤマト山地地域の氷床流動をJERS-1 SAR L-バンドインターフェロメトリで検出
- 等速流動の仮定が厳密には不成立が判明
- 適度な基線長の連続ペア揃えば、流動とその時間変動をモニタリング可能 → JERS-1 SARアーカイブやALOS/PALSARへの期待
- 露岩欠如領域への基線パラメータの内挿、外挿が課題